地域づくり・NPO 活動団体情報誌
2026.11.20 発行

しまね いきいきねっと

公益財団法人
ふるさと島根定住財団
（しまね県民活動支援センター）
https://www.teiju.or.jp
Vol.186

大盛況！10月3日(土)「石見の日 大交流会」に134名が参加！

石見を盛り上げるために活動する皆さんの連携を深め、更なる活性化を目的として、10月3日「**103**（いわみ）」を「石見の日」として島根県立大学浜田キャンパス内のカフェテリアで大交流会を開催しました。石見地域9市町からはもとより、県東部地域や県外からも含め134名の参加があり、石見をテーマに参加者の交流、意見交換で盛り上がりました。


参加者集合写真

【プログラム～第1部～】

オープニングプレゼン

「石見を楽しもう！」

（歴史と現状を踏まえつつ、ポジティブに動く）

プレゼンター： 島根県立大学講師　西嶋　一泰 氏

島根県、石見地方の幕末から明治維新の廃藩置県の動きやその後の人口動態、過疎発祥の地と言われる石見の現状、人口が減っても工夫して地域活動を行われている事例紹介等がありました。石見地域の資源である里山の活用なども含めて、人と人がつながることにより今後のまちづくり活動が進んでいくとの提言がありました。


◀ 西嶋　一泰 氏

グループワーク

「私(達)が石見で盛り上げたい取り組み」

（4人1組になってグループワークを3回転）

自己紹介、プレゼンの感想、自分の活動紹介等を行いグループ内の関係づくりを行いました。

【参加者の感想】
- 様々な意見交換ができて良かった！
- 自分では知り合えない人と知り合えて良かった
- 新たな関係づくりに役立った




【プログラム～第2部～】

～ 大交流会 ～

石見の食材を楽しみながら、わいわい多くの人と交流と繋がりづくり！





石見9市町のお料理大集合！


桑茶(江津市)

《参加者のコメント》
- 石見が大好きで何とかしたいと思っている人とつながれてよかった
- 同じ地域に同じように考える人たちがいることに希望が湧いてきた
- 面白い方がたくさんそろっていて楽しく交流できた
- これからは受け身ではなく積極的に参加します

【いわみオードブルメニュー】
- 赤天(浜田市：江木蒲鉾店)
- 冷奴 豆腐(益田市：真砂)
- ふぐみそ(大田市：和田珍味)
- もろきゅう
- もろみ(邑南町：垣崎醤油店)
- あなごフライ(大田市：岡富商店)
- 豚肉の冷しゃぶ
- 石見ポーク(邑南町：ディブロ)
- えごまポン酢(川本町：オーサンファーム)
- えごまコロッケ(川本町：道の駅かわもと)
- イノシシソーセージ(美郷町：山くじら)
- チーズ(益田市：田ノ原牧場)

【香の物】
- いぶり香香(浜田市：やさか加工グループの会)
- メロン粕漬け(津和野町：古橋酒造)
- わさび漬け(吉賀町：河野達)

初めての開催でしたが、たくさんのご参加ありがとうございました！！

～ 西部開催のセミナーのご案内 ～
ファンドレイジング計画書を作ろう！

講師・財団スタッフによる伴走型のセミナーです。この機会に団体の資金調達計画や事業計画を作成してみませんか。

詳細/申込はこちら

■日程
DAY1：12月2日(水) DAY2：12月23日(水) DAY3：1月20日(水)
※3回の連続講座になります！

■会　場　ふるさと島根定住財団 石見事務所

■参加費　無料

情報発信セミナーを開催しました


▲講師　桑谷謙吾 氏

講師に桑谷謙吾さんを迎え、2回連続講座の情報発信セミナーを開催しました。DAY1ではSNSについて①誰に→たった1人の相手を決める②何を→団体の想いを一文にする③どう続けるか→週1回・ネタ3種類で回す仕組み、など多くの人に届く情報発信のやり方も教えていただきました。

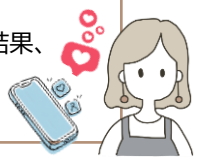
「たった1人の相手を決める」とは？
→具体的な人物像を固めること

- □年齢や立場。実在の人でOK
- □暮らし・毎日の様子
  （どんな1日を過ごしているのか）
- □悩みや困りごと
  （どんなことを考えているだろうか）
- □普段見ている、活用しているSNSは？



届ける1人の相手を決めると…

自分のことかと思い共感が生まれる。「誰でもどうぞ」ではなく、「あなた」に届く内容になる。
→同じような境遇の方にも届き、結果、**大きな反響**に繋がってくる!



DAY2では、参加者が各自パソコンを持参し「Canva」と「AI」を活用して、SNS投稿用の画像作成を行いました。まず「Canva」を活用するコツは、プロが整えたテンプレートなので操作するのは、①写真を差し替える②文字を打ち替える③色を団体カラーの1色にする、この3点がポイントで「なるべく操作しないこと」とアドバイスをもらいました。そしてAIでも画像はつくれるとのことで、AI活用についても教えていただきました。画像も文章もAIの活用で時間短縮することができるようになりましたが、最後（発信・投稿前）の確認は人の目、自分の言葉で読み直すことが大切！と学びました。


▲セミナーの様子

専門相談では、情報発信・広報について、専門家に相談できます！

◀専門相談の詳細はこちらをご覧ください。

2/20開催！「地域づくりオールスター祭（まつり）」参加申込み受付中！

今年のテーマ「まなぶ、つながる、たすけあう」

ご参加お待ちしてます！

あらゆる場面で後継者不足、担い手不足が顕在化している今こそ、主体間の枠組みを越え、各主体のリソースを生かした課題解決に「共助」「協働」で取り組むことが有効です。**「助け合い」は、困っている時にだけ必要なことではありません。**他の主体と関わり合いながら課題解決に向き合うことで、個では達成できないような成果に結びつきます。

地域づくりオールスター祭は、同じ志をもって島根で頑張る仲間との出会いの場です。明日に生かせる情報が得られるのと同時に、参加者との交流を通じ、共に課題解決に取り組む仲間とのつながりが得られます！


↑昨年度の様子↓



【開催概要】　**※要事前申込み**

- ■日　程：2027年２月20日(土)　10:00 ～ 16:00
  懇親会：16:30 ～ 18:00（平田文化館小ホールにて開催）
- ■会　場：平田文化館（出雲市平田町2112-1）
- ■参加費：1,000円（お弁当代として）
- ■対　象：島根で地域づくりに取り組んでいる方、島根の地域づくりに関心がある方
- ■問合せ：松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
  （公財）ふるさと島根定住財団 地域活動支援課　田邊
  Tel：0852-28-0690　／　E-mail：chiiki@teiju.or.jp

詳細/申込はこちら

島根いきいき広場 - 助成金情報 -

詳しい情報・問い合わせ先などはサイトからご確認ください。
①助成金名　②助成額（助成内容）　③締切

https://www.shimane-ikiiki.jp　島根いきいき広場　助成金

①子どもゆめ基金1次募集 ②一般助成枠と少額助成枠があり、 一般助成枠の限度額は活動規模 (参加者募集延人数)により異なる ③12/2(水)17時	①「子どもの貧困」支援活動応援助成 ②1団体あたり5万円～50万円 ③12/3(木)23時59分
①POSC社会貢献活動支援のための助成 ②1件あたり150万円以内 ③12/4(金)15時(郵送は消印有効)	①エフピコ環境基金 ②1件あたり上限200万円/年 ③12/15(火)
①洲崎福祉財団継続助成 ②1件あたり最長3年間 最大4000万円 ③12/19(土)消印有効	①石井十次賞 ②本賞：賞状及び楯、副賞：100万円 ③12/25(金)当日消印有効
①こども食堂スタート応援助成 プログラム ②1団体あたり上限5万円 ③12/28(月)15時必着	①愛のともしび募金 ②1団体あたり上限原則10万円 ③1/22(金)必着
①菅井グリーン基金 ②1件あたり30万円以内 ③1/26(火)17時	①全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 ②1件あたり上限200万円 ③1/31(日)必着

Information

寄付に感謝する集い2026

感謝を伝える活動報告会　～ありがとうを地域の力に。～

「寄付に感謝する集い」は、寄付を受けて活動するNPOと寄付者が一堂に会し、様々な社会貢献活動を知り、寄付への感謝を伝える集いです。ご参加お待ちしています！

《日時》2026年12月18日（金）14:30～17:00
《会場》松江市民活動センター5階交流ホール
《内容》情報提供、感謝を伝える活動報告、交流タイム
《参加費》無料
《主催》松江NPOネットワーク・NPO法人まちづくりネットワーク島根・
島根県・公益財団法人ふるさと島根定住財団
《問い合わせ先》松江NPOネットワーク　E-mail：matsuenpo.net@gmail.com

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。
12 Giving December

詳細/申込はこちら



つながる寄附、広がる活動

―しまね社会貢献基金はあなたの活動を応援します！―

島根県では、皆さまからの寄附金で積み立てた「しまね社会貢献基金」を活用し、NPO法人やボランティア団体等の社会貢献活動を支援しています。こちらでは、基金を活用された団体の活動をご紹介します。

団体紹介・理念（ミッション）



「子どもアートDay」実行委員会
[住所]松江市殿町158（島根県民会館内）
[電話] 090−9738−1792
[H P] https://blog.canpan.info/kidsartday-shimane/

地域の親子が気軽にさまざまなアートに出会える“子ども・子育て応援イベント”として「子どもアートDay」を実施します。
子どもたちの健やかな育ちを支えたいと願う多様な団体・人が連携し、アートの持つ、人と人とをつなぎ、癒やし、元気づけ、笑顔にする力を借りて、子育て家庭を地域の支援者とつなぎます。

事業の内容・実績

インタビュー
「子どもアートDay」実行委員会
事務局　竹田さん(左)と原田さん(右)



子どもアートDay2025

2020年、国際的な児童演劇祭の関連イベントとして「子どもアートDay」を企画しましたが、残念ながらコロナ禍で中止となりました。その後2度の延期を経てようやく2022年に第1回「子どもアートDay」を開催しました。
アーティストや文化施設、子ども子育て支援団体、NPO、大学生、行政などが連携し、子どもの体験格差を少しでも減らしたいとの思いでスタートしたこの企画は、2025年に第3回を迎え、43団体が参加し、当日は2,000人を超える来場者を記録しました。参加する親子が経済的な負担なく楽しめる一日となるよう、開催資金はしまね社会貢献基金のクラウドファンディングを活用して参加団体みんなで集めました。参加団体同士の連帯を強め、また、活動を地域の方々に広く知っていただくという意味でもクラウドファンディングという手法が私たちには適していました。





当日は、音楽やパフォーマンスを鑑賞するプログラムに加えて、新聞紙や包装紙、マスキングテープ、リボンなど身近で安価な材料を使うことにより、家庭でも作ったり遊んだりできるプログラムをたくさん実施しました。私たちの想定を超える自由な発想で夢中になって遊んでいる子どもたち、いっしょに楽しんでいる保護者の皆さんの姿に、私たちも思わず笑顔になりました。
継続して支援してくださる方が多く、本当に感謝しています。また、寄附による支援に限らず、チラシの配架や会場準備など様々な形で協力してくださる方が増えているということも大変ありがたく感じています。子どもの権利条約第31条「休み、遊び、文化芸術活動に参加する権利」の保障を体現するイベントとして、これからもつながりを大切に育てていきたいです。

取材を通して感じたこと

実際に会場を訪れると、子どもから大人まで、会場にいるすべての方が“笑顔”と“アート”に包まれており、まるで遊園地にいるような高揚感を感じました。今後も、参加団体とのネットワークを大切にしながら、この取り組みが子どもたちの文化的体験を支える地域づくりとして、広く根付いていくことを期待しています。

県内NPO情報　R8年10月末 現在

県内NPO法人数	全体	271
	内認定	6
	内特例認定	1
しまね社会貢献基金登録団体数		82
だんだん認証レベル取得団体数	全体	37
	内レベル2	28

発行元　(公財)ふるさと島根定住財団
（しまね県民活動支援センター）
[松江事務局]
〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690　FAX (0852)28-0692
E-mail： chiiki@teiju.or.jp
[石見事務所]
〒697-0034 浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
いわみぷらっと内
TEL (0855)25-1600　FAX (0855)25-1630
E-mail： iwami@teiju.or.jp

島根いきいき広場
県民活動応援サイト
https://www.shimane-ikiiki.jp/

「島根いきいき広場」LINE公式アカウントができました。

お友だち募集中！登録をお願いします。

Facebookも日々更新中！
しまね県民活動支援センターで検索してみてください♪